月の争議となってストライキ破りを続ける以上は俺達は全労働階級の名にかけて彼等を許してはおけないのだ。

俺達が争議へ入って数日間、本当今日から共同戦線の中へみんなかって来た。俺達は早速其中の代表を承認して俺達の方から三名、本当今日からも三名の代表を出し其の晩の九時に会見する約束をした。俺達の代表は的確なんキッチリ約束の場所へ行った。彼らは来ても来ても来ても今日の代表は来ない、とうとう俺達の代表はしまいに的確まで彼らホケを喰はされそしまった。彼等は俺達が共同戦線の中へ入を拒絶すると思ってゐたんだ。そして俺達が拒絶したら、それを種に働く者の連帯を破壊すべく彼らは陰謀をしたんだ。ところが相撲俺達は絶対無でもなければ本当今日もまく行って一も二もなく共同戦線の提議を受け入れたので、一旦は戦争力もなければ意思のない彼等はあっぱれ面喰ったと云えばどうく其の晩の会見の約束を反古にしてしまった。

それだけならまだいい、其の長十数日、俺達が武装せる暴力団と対抗し数十名の検束者、負傷者、被起訴者を出した悪戦苦闘してゐる間、彼等は一体どんなことをやったか一やれ「今後の争議は直ちにきまってゐる」のやれ「今は時期が悪い」のと言って、自分の組合に属しこゐる事務員達(それも二十名ばかりだった)の争議参加を阻止するだけではなく、既に争議に参加してゐる者まで切り崩しやくった。今度争議の生活費の為の争議に対する二人なり者は一体何の為争議のためなのかそれとも其本家巻目の為なのかと、

面倒臭いから彼等の働いた働に対し一々反論しない。

彼等は俺達が言葉と共同戦線を作ることが事実相違だと言ふ、立場で彼等自身立場を変化せるとそれが利益になる場合に共同戦線をやることが裏切り行為かと、俺達は俺達の争議を有利に展開する為めには本当に的確な利益かつ他の組合に対する嫉妬と敵対心とから出たない事実今日と雖も共同戦線を絶対せなかったのだ

又彼等は言ふ俺達の幹部が右翼の御使所謂(一)岩田の手先に争議をとられたとゆうこと。嘘をつくなもしもし方しかくやるかまく。岩田の方から調停法(解決を依頼し調停法が俺達を呼出したからだ

又彼等は言ふ。幹部だけでコソ〳〵争議対策を講じてゐると、これは大出来だ、まあ一度見れば分るかもしれない。又言ふ。争議委員は強要されてゐると、心配は無用！たい争議委員は本当に自分で今日幹部に方のたいるものがある、指導者からも中堅分子も幹部の態度は出来てゐる。倫理を無視心からこの団結を争議を見殺しにしてゐるは、彼等及び彼等一味の「輝ける九月」だけだ。少し常識を弄めて貰ひたい。

出れ彼等は言ふ。暴力団が帰されて幹部が逃げてゐると、暴力団が帰されて争議に勝ったのは本当今日の幹部自身だ。俺達の幹部は俺達と一緒にいる中央委員達も幹部に協力してゐる。又言ふ本部孤立の一人の働きかけ何もなさずをあないと本部孤立ってこゐる。争議に参加してゐるものはないか

今度の問題は結局